

研 究 所 通 信

2025 年あき号
藤田佳代舞踊研究所

直前です！ ぜひみにきてください。

第48回発表会 10月18日(土) 神戸文化中ホール 18時開演

届ける—地震と津波と原発事故で亡くなった数限りない命たちへ あ、こんなところに！ みわ—雨の名を継ぐ

出演 藤田佳代舞踊研究所研究生 拍踏衆

ゴールデンウィーク明けから始めた発表会の練習もいよいよ本番を迎える日が近づいてきました。初めはどうなることかと思われた踊りも今では胸を張って、どうぞ見に来て下さいと言えるようになりました。出演者たちは長い間の練習をほんとうによくがんばりました。

今回お届けするのは、「届ける—地震と津波と原発事故で亡くなった数限りない命たちへ」、「あ、こんなところに！」、「みわ—雨の名を継ぐ」の三作品です。「あ、こんなところに！」では、子どもたちが書いた日記風の文章と、子どもたちが描いた絵を基に、長友房子さんが絵を描いて下さいました。ホリゾンにスクリーンを置き、そこに映しますのどうぞお楽しみに。

「あ、こんなところに！」の子ども役、「みわ—雨の名を継ぐ」のみわ役の出演者が、出演する場面のコメントを書きましたのどうぞ一読ください。

「あ、こんなところに！」

住吉川でカワセミを見つけて追いかけたら、きれいな青い花を見つけたというお話です。カワセミと青い花の出会いを楽しく踊ります。

谷川陽香(本部 小6)

学校にいくとちゅうにモンシロチョウを見つけました。チョウをおいかけていたらユキヤナギにかくれてしまいました。ぼくはモンシロチョウをおいかける子どものやくをします。元気にたのしくおどります。

山本真慧(本部 小2)

私は「あ、こんなところに！」の子どもやくをえんじます。カラスノエンドウを見てねむたくなっている所を考えながらおどりたいです。

森悠乃(本部 小4)

わたしはスマレのおどりで、ポーズをしっかりとりたいたいです。貝のおどりでは、はっきりとおどりたいです。どちらのおどりでも、がんばりたいことは、つまさをのばすことをがんばりたいです。

原綾乃(本部 小3)

子供の役は、踊りの中で唯一「ヒト」という役を演じさせてもらいます。ヒトとして、自然の中に生きる存在の想いを込め、言葉のないメッセージが伝わるように心を込めて踊りたいです。

岸本穂花(本部 中1)

私がさせてもらう役は、学校に行きたくない子の役です。私の友達にも学校に来れない子がいます。私は学校に行くのがとても好きで、気持ちを理解するのが難しかったけど、その子の気持ちを考えたり、心を寄せたりしてこの役を精一杯踊ります。

稲原真子(桂木 中1)

この場面では、雨、カエル、サンカヨウ、女の子が出てきます。雨がとつぜん降ってきて女の子はかさをさしました。すると、雨が好きなカエルと水にぬれるとどうめいになってしまうサンカヨウが飛び出してきました。そしてカエルとサンカヨウは「かさに入れて」と言いました。雨の日でも楽しく思えるようなふりつけがはいっています。元気いっぱいなカエルやサンカヨウを見るとほっこりした気持ちになれますよ。つま先や手首をのばす動きに注目してご覧ください。

井上由唯佳(西神南 小6)

ツバメとナガミヒナゲシといっしょに楽しくおどります。プロローグとエピローグで1人でおどるところはかおをあげてがんばります。

加藤琴菜(有野 小2)

私がでている場面は、逆上がりができるようにうぐいすや、シャガたちに練習の手伝いをしてもらう場面です。私がかんばった場面は、最後にシャガやうぐいすに見守られながら逆上りをする場面です。

前田彩葉(桂木 小5)

桜の花びらがまっているように目線を意識したいです。

江木伊吹(小東台 本部 小6)

「みわ—雨の名を継ぐ」

プロローグの雨乞の踊りは、みわ役をやっていない、各教室の小学6年から中学3年までのジュニア生で踊っています。

日照り、飢餓、雨乞、これらの言葉を実際に経験したことがあるダンサーはいないと思うのですが、若いダンサーたちの踊りへの集中度は素晴らしいです。彼女らは飢えと渴きを経験し、切実に雨を乞うています。雨乞いの踊りを踊っているのではなく、雨乞をしてくれています。

そして選ばれてしまったみわの思い、他の少女たちのみわへの思い、悲しみや怒り、悔しさがダイレクトに伝わってきて毎回心にグツとくるものがあります。今回の14人ダンサーに心からの感謝を。踊ってくれてありがとう！

菊本千永

おそろおそろ森に入ると、蛭のむれにおそろわれます。一生けんめいにげ回りますがさいごはつかれはて、たおれてしまいます。こわがる様子やひっそりしている様子を手や体のうごきで表現できるようにがんばります。

江木伊吹(小東台 本部 小6)

小さな貝たちが倒れたみわをおどって治してくれます。

河内清華(本部 小6)

私は今回、木霊の踊りでみわ役を務めさせていただきます。この踊りは、けがで負った傷を貝たちに癒してもらったみわが、その後命と引き換えに新たな龍神となり雨を降らせるといふ悲しくて切ないものです。木霊の踊りでは、蛭にあい、負ってしまった傷を貝たちに癒してもらったみわが不安になりながらも木霊達に御祓いをしてもらい、少しずつ勇気を持てるようになるといった様子を表現したいと思っています。私が今回の踊りで大切にしたいことは表現力です。村を救うために大きな不安を持ちながら立ち向かうみわの「不安」と「希望」をどう表現するかがとても難しいと感じました。それを表現するために表情と丁寧に踊ることを意識していきたいです。精一杯頑張ります！

池田陽愛(加古川 中2)

私はみわ役でちょうどくもの場面に出ます。みわの気持ちのちがいをおどりで表現します。5年生でみわ役が一人なので、一生懸命がんばりたいです。

勝木遙(小5 桂木教室)

私は、みわが見たことのない道祖神に会うシーンを演じます。みわの「あれはなんだろう」という気持ちを表現できるように様々なところを工夫しました。

千原芽希(本部 中1)

みわ役を2場面踊ります。

鴉の使者の場面は、洞窟に入る時の壁伝いに進む動きをたくさん練習しました。

鹿の使者の場面は、幕から出る時、明るい曲だけど重たい動きや転倒する動きに難しさを感じました。

本番ではみわの感情をたくさんの人に伝えられるように練習してきたことに自信を持って踊りたいです。

川端みなみ(大久保 高2)

私が踊るのは、狐の使者が登場する場面です。狐の使者がみわに飛ぶ力を与える場面なので最後のグランジュッテをかつこよく、顔をあげて飛べるようにがんばりたいです。

益永あい子(宝塚 小6)

へびにおそわれると思いにくいにしてにげますが、最後には力をもらい次の使者に会いに行きます。最後にはへびに一人ずつ力をもらいに行きます。

そこで感謝する気持ちで踊りたいです。

江木伊吹(小東台 本部 小6)

こい達とは、はげしいおどりを踊ります。テンポのはやい曲ですが心を合わせてがんばります。

河内清華(本部 小6)

6)

龍神と出会う場面です。みわの、ここで何百年も一人ですごく覚悟を表したいです。

河内清華(本部 小6)

かじのり子モダンダンスステージⅥ 11月8日(土)18時開演 神戸ファッション美術館オルビスホール

この世にあるものたち 光の在処

(出演) 金沢景子 菊本千永 向井華奈子 石井麻子 板垣祐三子 山本奈央 田中文菜 稲益夢子 門家由采 西村美咲

吉川杏奈 住谷路 安岡珠希 池田陽愛 岸本穂花 森暖乃 山本真慧 かじのり子

(美術) 加川広重

新作「光の在処」は宮城県の水彩画家、加川広重さんの絵画2011 3 12 夜明け前」に触発され、舞踊作品にしたいと思いました。

「2011 3 12 夜明け前」の実物は11/8 当日にオルビスホール受付付近でご覧いただけます。

今回、舞台用に巨大絵画として改めて制作して下さいます。

夜明け前、復興、復旧などという言葉も口に出せないほどの絶望の中、あとから考えるとあれが光の在処だったのかなと思える小さな光に、それでも立ち上がりたい、一歩でも前に進みたいと願った30年前の神戸が重なりました。

18名のダンサーで踊ります。

佳代先生作品「この世にあるものたち」も発表致します。ヒトの目を通して、季節の花や虫、鳥、雲、木、彗星、人間を見つめます。

ぜひ、会場まで足をお運びくださいませ。お待ちしております。

「光の在処」創作メモより

闇 蠢く

何かが起きる前の不穏な空気。海底からボコッと吹き出る熱泉。海から立ち昇る水蒸気。

漆黒の

ヒタヒタとやってくる漆黒の波。

大切だったもの

かつて大切にしていたのに、今は瓦礫と化している。

夜明け前に

夜明け前にできること、祈ることだけ。

編集後記

この編集後記を書いているのは10月11日。発表会の一週間前です。今日から発表会直前、最後のリハーサルの週になります。あっというまだった、と思う

年もあるのですが、今年はずいぶん長い時間だったように思えます。それは下は3才から上は何才までなのか詳しくは知りませんが、振付当初と比べてすべてのダンサーの成長がすごかったからではないかと思っています。今回のこのメンバーで踊れたことに感謝です。

菊本千永